

環境報告書 (第十回)

平成25年6月10日
環境管理責任者

第88期(H24年度・24.5/21～25.5/20)

当社足立生産センターにおける環境活動も、スタート以来丸9年を経過致しました。お陰様を持ちまして、関係各位のご支援をいただき、一定の成果を得ることが出来ましたこと、深く感謝する次第です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。当社足立生産センターにおける本年度(88期)環境マネジメントシステム(EMS)の状況についてご報告いたします。

目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	製品の多様化と難易度の高い薄紙印刷の需要増の中、作業基準書の見直しと機械調整の徹底、作業員への計画的技術教育の実施等により、目標を達成することが出来た。今後も継続して取り組んでいく。
電気を使用する ガスを使用する	有効なエネルギー資源を有効に使う	ここ数年取り組んできた冷暖房温度管理、機械停止時の運用改善等の効果が定着する等して、目標を達成することが出来た。今後も、通年での節電対策等を強化しながら推進していく。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	用紙劣化が進む中、高品質の製品を目指し試運転時に使用するインキ量が増加。これらのインキは他の仕事に流用することが難しく、不本意ながら廃棄処分せざるを得なくなり、結果として僅かながら目標を達成出来なかった。今後は、調肉用への利用等を含め、インキの再利用を検討していく予定。
ロスミスによる用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	管理体制の強化と、技術者の意識向上を図りながら取り組んだ結果、目標を達成することが出来た。今後も作業の精度向上、効率化、改善を図りながら推進していく。

主な活動状況

- 当社は印刷オペレータや営業社員に対し、積極的に外部教育機関へ派遣し、印刷知識・技術の向上を図っている。同時に環境活動(力量)へのスキルアップ改善へもつなげ、損紙削減活動等にも寄与させている。
- ここ数年来、資源を投入して印刷機オーバーホール、工場内換気設備の改善、空調設備の省エネタイプへの更新等を実施して、印刷環境の整備を図っている。
- また、周辺設備においても印刷機械をはじめ、冷却水チラーポンプやコンプレッサーのインバーター化も実施し、その結果、省エネ活動に大きく寄与してきたと思われる。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を、更に目指していきます。